

令和2年度 学校関係者評価報告書

令和2年6月26日
学校関係者評価委員会
ホンダ テクニカル カレッジ 関東

1. はじめに

学校関係者評価とは、学校の自己評価の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する者の理解促進、連携協力による学校運営の改善を図ることを目的としています。具体的には、学校が策定した重点目標、計画の実施について自己評価を行い、その結果を踏まえ、今後の取組方針などについて、学校が選定した学校関係者評価委員に説明し、教育活動、学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言、評価等を頂くことで学校改善につなげることを目指しています。

学校法人ホンダ学園 ホンダ テクニカル カレッジ 関東（以下、ホンダ学園）においては、平成26年10月に学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会を発足させ、令和2年度は、学校関係者評価委員会を2回開催、教育編成委員会を2回開催する中、委員の皆様から幅広い意見、助言、評価を頂きました。

その結果を本報告書にまとめ、今後の教育内容や学校運営等の改善に活かすことを推進しています。

2. 令和2年度 学校関係者評価委員会開催概要

・日時：令和2年6月9日（第1回委員会） 令和2年6月26日（第2回委員会）

・場所：ホンダ 学園 講堂

・評価委員	関谷 雅裕（委員長）	（株）ホンダカーズ埼玉 取締役 事業管理本部 本部長 兼 コンプライアンスオフィサー
	森山 吉樹	（株）オートテックジャパン 人事部 部長
	金子 明	ふじみ野市役所 総合政策部 部長
	松岡 孝	本田技研工業（株） 日本本部 地域人事部 主事
	藤井 潤	後援会 会長

・学校側出席者	都築 俊一	校長 兼 教務部長
	嶋 健司	サービスエンジニア1課 課長
	熊原 文人	サービスエンジニア2課 課長
	達富 由樹	開発エンジニア課 課長
	渥美 淑弘	教育改革課 課長
	青屋 和宏	学務室長代理
	山口 靖之	事務局（教頭兼学務室長）
	嶋津 和真	常務理事（オブザーバー）

【学校関係者評価委員会 式次第】

＜第1回委員会＞

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・令和元年度 学校方針に基づく運営実績報告
- ・令和元年度 自己点検・自己評価報告書の説明
- ・質疑応答
- ・次回委員会開催について

＜第2回委員会＞

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・第1回委員会議事録の確認、共有
- ・各委員からの質問、提言、評価への回答
- ・教育課程編成委員会会議開催内容の報告
- ・委員会評価のまとめ
- ・質疑応答
- ・今後の評価結果公表について

3. 令和2年度 教育課程編成委員会開催概要

・日時：令和2年6月12日（第1回委員会） 令和2年6月24日（第2回委員会）

・場所：ホンダ学園 第一会議室

・評価委員	都築 俊一（委員長） 鈴木 尚也 中妻 茂 富田 英則 中村 純一	校長 兼 教務部長 (株)ホンダテクノフォート 人事部 一般社団法人 埼玉県自動車整備振興会 (株)ホンダカーズ久喜 社長 (株)ホンダプロモーション（ホンダカーズ川越）統括部長
・学校側出席者	山口 靖之 嶋 健司 熊原 文人 達富 由樹 渥美 淑弘	教頭 兼 学務室長 サービスエンジニア2課 課長 サービスエンジニア1課 課長 開発エンジニア課 課長 教育改革課 課長

【教育課程編成委員会 式次第】

＜第1回委員会＞

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・令和元年度 学校方針に基づく運営実績報告
- ・令和元年度 自己評価書の説明
- ・質疑応答
- ・次回委員会開催に向けて

＜第2回委員会＞

- ・委員長挨拶
- ・校長挨拶
- ・第1回委員会議事録の確認、共有
- ・各委員からの質問、提言、評価への回答
- ・質疑応答
- ・今後の評価結果公表について

【実施方法】

学校側より、学園概要、教育内容、令和元年度の重点課題、重点目標を説明し、まず委員会での課題共有を図りました。その後、令和元年度の自己点検・自己評価報告書による評価結果の説明をし、質疑応答を通して意見交換を行い、更に詳細に課題認識を深めました。そして、第2回委員会にて、各委員の皆様より頂いた質問、提言、評価に対して回答を行い、質疑応答及び意見交換を図り、学校関係者評価委員会として最終評価を取り纏めました。

次ページより基準ごとの評価結果を報告致します。

5. 評価結果

基準1:教育理念・目的・育人人材像等

「世界に歓迎される人間の育成」や「チャレンジ精神」などホンダ直営の学校に即した理念は、貴校の最大の強みであり、ホンダらしさに溢れた素晴らしい教育理念です。

教職員はもとより、カレッジガイドやシラバス等によって外部にも広く周知され、Hondaの持つ資源を有効活用し、それを強みとした学校運営がなされているものと感じます。

今後も本教育理念を貫き、世界に歓迎され、また、社会に歓迎される人材育成をお願いします。

基準2:学校運営

中期計画に定められた「選ばれる学園の確立」の実現のために、事業計画に沿った学校運営がなされています。また、選ばれるための基盤づくりにある“教職員の質(研修充実)と活力(プロ意識改革)の向上”は的を射た施策であり、職員の育成、処遇改善に取り組んでいることを確認しました。

今後も学務室と教務部の方針の関連性をより高め、数値目標の達成に向けた取組み強化をお願いします。なお、学費を抑える施策も是非、検討して下さい。

基準3:教育活動

新機構、新技術などに対応したカリキュラムの見直し等をはじめ、技術だけでなく、英語教育やインターンシップ、安全運転、クラブ活動など、総合的なキャリア教育に取り組まれています。18歳人口の減少や若者の目的意識の変化、基礎学力の低下傾向など、教育環境は今後、更に厳しさを増しますが、メーカー校としての強みを活かし、教育活動の充実を図って下さい。

また、1級課程の学生数は年々、増加しているため、国家試験合格率100%必達をお願いします。

基準4:教育成果

退学率の低減や就職内定率、資格取得率の向上に向けた取り組みは確実に効果的なものと確認しました。但し、資格取得率は、合格率100%を目指して、引き続き取り組み強化をお願いします。

また、不合格者の分析と卒業後の状況把握とフォローを実施し、就職先との関係強化や更なる教育活動の質向上をお願いします。

基準5:学生支援

就職や健康管理、メンタルヘルスなど支援体制は充実しており、車両の調達等においてもメーカー校ならではの支援がなされており、大変魅力的です。

部活動への支援(環境整備)は、学生のモチベーション向上にも繋がる良い取り組みであり、部加入率70%は退学率の削減にも寄与すると思います。特にフォーミュラやエコラン等は、学校のプレゼンス向上に繋がることから上位入賞目指し、強力な支援をお願い致します。

一方、近年、奨学金の借入れ等により、卒業後に経済面で困窮してしまう人が多いと思われるので、学校運営の経営基盤強化を図りながら、学生の経済面での支援策も検討をお願いします。

基準6:教育環境

メーカー校の強みを活かし、最新の設備等を活用した実践的な教育が行われています。

施設、設備の更新も計画的に実施されており、特に校舎、学生寮、付帯施設(図書館、食堂、クラブハウス、体育館等)も充実され、教育環境は大幅に改善されている事を確認しました。

基準7:学生募集と受け入れ

オープンキャンパスやイベントを通じて積極的な募集活動が展開されています。年々、18歳人口の減少や若者の車離れ等で募集活動は厳しさを増していくことが推察されますので今後は、他職種の若年社会人へのアプローチも重要と考えます。また、ホンダカーズと連携したイベントや施策は継続して実施をお願いします。

基準8:財務

財務状況については、財務諸表のみならず、事業実績も含めてホームページで公表されています。また、外部監査人による監査も実施されており、透明性の高いものとなっています。引き続き、学生充足率を向上させ、経営基盤の安定強化を図り、電動化等、将来の投資への備えをお願いします。

基準9:法令等の遵守

コンプライアンス(法令順守)については、適正に遵守されています。特に近年、個人情報保護の徹底が求められており、ひとたび問題を起こすと当事者への影響はもちろん、その信頼回復には多くの時間とコストが必要となります。引き続き、教育現場として十分、個人情報保護の対策を講じ学校運営をお願いします。

基準10:社会貢献

社会貢献の心と行動力を育むとの方針通り、近隣地域を中心とした社会貢献活動を適切に実施されています。特にふじみ野市と「包括的な連携協力に関する協定」を締結し、市民を対象にした「市民カレッジ」「市民大学」等の講座をこれまで開催しております。また、令和元年度は、環境センターで行ったエコラボフェスタで水素、燃料電池自動車の勉強会を昨年度に引き続き、実施し、公民館事業においても、子どもたち向けにペーパークラフトでの車づくりなど、多くの事業を展開しています。更には、道路の美化活動や地域の清掃活動等を積極的に実施しており、教職員や学生の皆さまの社会貢献度は非常に大きなものであります。

委員会からのまとめ

令和2年度においても昨年度に引き続き、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会で様々な意見、提言評価をさせて頂きました。その中で本年度は「重点課題・目標」「学校運営」「学生支援」などの進捗確認及び意見・提言・評価をさせて頂きました。

教育活動は、新機構、新技術などに対応したカリキュラムの見直し等をはじめ、技術だけでなく、英語教育やインターンシップ、安全運転、クラブ活動など、総合的なキャリア教育に取り組まれており、教育成果(退学率低減、就職内定率、資格取得率等)は確実に向上しています。また、施設、設備の更新も計画的に実施されており、特に校舎、学生寮、付帯施設(図書館、食堂、クラブハウス、体育館等)の充実により、教育環境は大幅に改善しています。また、部活動への支援(環境整備)は、学生のモチベーション向上にも繋がる良い取り組みであり、部加入率70%は退学率の削減にも寄与することから引き続き支援強化をお願いします。最後に学校運営の経営基盤強化を図りながら、今後も学生の経済面での支援や必要な投資策の検討・推進を是非、お願いします。